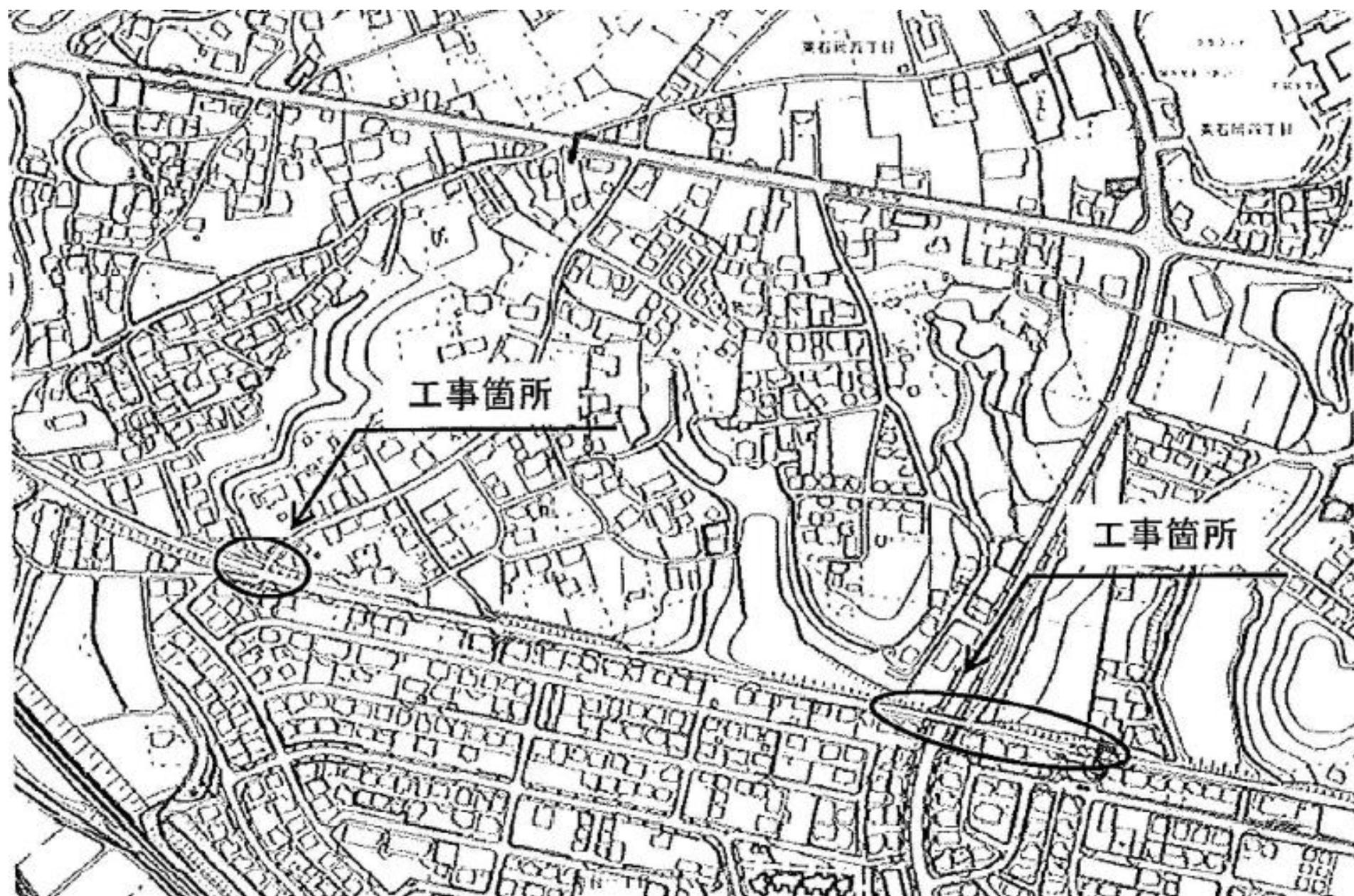


工事起工 概要書

部 長	次 長	課 長	課長補佐	課 員	課 員	審査員	設計者			
執行年度		平成 30 年度								
工事番号 工事名		30単・市道A3380号線 (BRT)			第30-00-095-3-380号			舗装補修工事 起工 設計書		
工事場所 又は履行場所		石岡市 南台二丁目外 地内								
施工方法					原契約年月日		年 月 日			
工期又は 履行期間		平成 年 月 日 から平成 31年 3月15日 まで 日間								
受注者										
費 目		起 工		第1回変更		増 減 (△)				
起 工 額								変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率		
請負(委託) に付する額								請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$		
工事(業務) 価 格								(小数第7位切り捨て6位止め)		
測量試験費 又は工事雑費								変更積算工事価格 - 円		
消費税相当額								請負比率 -		
請負(委託) 決 定 額								変更工事価格 - 円		
工 事 概 要										
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3
舗装補修工事 L = 130.8 m										
舗装打換え工										
表層 (再密As20)		A = 459 m ²								
区画線工										
外側線		L = 193 m								
変更理由										



特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、30単・市道A3380号線(BRT)舗装補修工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、雨天や休日等を見込み100日間までとする。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別紙「工事数量総括(内訳)表」のとおりとする。

(工程関係)

第4条 当工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	100日間

2 バスの運行・運休時間を考慮し施工する必要があるため、工程の詳細については、監督員及び関鉄グリーンバス(株)と協議し、その指示に従うこと。

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたりサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
路盤工	再生クラッシャーラン	RC-40
表層工	再生アスファルト	再密As20

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては交通誘導員を設置し、バスの通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに、現場状況により人員数や配置等を変更したい場合には監督員と事前に協議すること。

(発生土の処理)

第10条 本工事における発生土については、監督員の指示する場所に運搬すること。

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(労働安全衛生法等の遵守)

第12条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、

特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
 - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

第 30-00-095-3-380 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路修繕						
			1	式		
舗装工						
			1	式		
舗装打換え工						舗装版切断 146.000 m 舗装版破碎(小規模) 459.000 m2 殻運搬 23.000 m3 表層 459.000 m2
			1	式		
区画線工						
			1	式		
区画線工						溶融式区画線 193.000 m
			1	式		
仮設工						
			1	式		
交通管理工						交通誘導警備員 10.000 人日
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 30-00-095-3-380 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路修繕									
舗装工									
舗装打換え工									
舗装版切断					146.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)					146.000	m			施工P 第0001号代価表
舗装版破碎(小規模)					459.000	m2			
舗装版破碎積込(小規模土工) 費用の内訳(全ての費用)					459.000	m2			施工P 第0002号代価表
殻運搬					23.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械積込(小規模土工)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(4.5km以下),費用の内訳(全ての費用)					23.000	m3			施工P 第0003号代価表
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下					54.000	t			
表層					459.000	m2			
不陸整正(路床又は路盤の補足材敷均転圧) 総施工量(1000m2未満),打換え区分(舗装版のみの打換え),すりつけ作業の有無(有),小型バックホウ規格(排出ガス対策型(第3次基準値))					459.000	m2			第0004号代価表
表層(車道・路肩部) 平均幅員(1.4m以上),1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm),材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類(プライムコート PK-3),費用の内訳(全ての費用)					459.000	m2			施工P 第0005号代価表

本工事費内訳書

第 30-00-095-3-380 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
加熱合材補修工 (パッチング) 日当り施工量(1t以上2t未満)		t			第0006号代価表
	1.000				
区画線工					
区画線工					
熔融式区画線		m			
	193.000				
区画線設置 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 15cm), 時間的制約の有無(有り), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)		m			第0007号代価表
	193.000				
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		人日			
	10.000				
交通誘導警備員B		人日			第0008号代価表
	10.000				
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					

本工事費内訳書

第 30-00-095-3-380 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
一般管理費等									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.53%, 労52.76%, 材40.71%, 市0.00%)

第 30-00-095-3-380号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.410	%			K1
特殊作業員	18.310	%			R1
世話役	9.400	%			R2
普通作業員	7.950	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	38.030	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.810	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 舗装版破碎積込(小規模土工)

施工P(機25.18%, 労67.46%, 材7.36%, 市0.00%)

第 30-00-095-3-380号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	25.180	%			K1
運転手(特殊)	67.460	%			R1
軽油 1.2号	7.360	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

	条件名称 J 0 1 費用の内訳	入力値 1	入力名称 全ての費用
--	---------------------	----------	---------------

第 0003 号 代価表 殻運搬

施工P(機20.68%, 労70.43%, 材8.89%, 市0.00%)

第 30-00-095-3-380号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	20.680	%			K1
運転手 (一般)	70.430	%			R1
軽油 1. 2号	8.890	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	5	機械積込 (小規模土工)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 2 運搬距離 (km) (DID区間無)	7	4.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 不陸整正(路床又は路盤の補足材敷均転圧)

第 30-00-095-3-380号

100.000

m2 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
小型バックホウ運転 打換え区分(舗装版のみの打換え), 小型バックホウ規格(排出ガス対策型(第3次基準値))		日			
タイヤロー運転 打換え区分(舗装版のみの打換え)		日			
振動ロー運転 打換え区分(舗装版のみの打換え)		日			
諸雑費(率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 総施工量	1	1000m2未満
J 0 2 打換え区分	2	舗装版のみの打換え
J 0 3 すりつけ作業の有無	1	有
J 0 4 小型バックホウ規格	1	排出ガス対策型(第3次基準値)

第 0005 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.50%, 労8.65%, 材87.85%, 市0.00%)

第 30-00-095-3-380号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.880	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.530	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.530	%			K3
普通作業員	3.130	%			R1
特殊作業員	1.790	%			R2
運転手 (特殊)	1.740	%			R3
世話役	0.610	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	80.650	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.800	%			Z2
軽油 1.2号	0.340	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均幅員	3	1.4m以上			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm			
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第 0006 号 代価表 加熱合材補修工

第 30-00-095-3-380号

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物	1.000	t			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 日当り施工量	入力値 2	入力名称 1t以上2t未満
-------	----------------	----------	------------------

第 0007 号 代価表 区画線設置

第 30-00-095-3-380号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約受ける	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	25.000	kg			
軽油 1.2号	44.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	1	実線 15cm
J05 時間的制約の有無	2	有り
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

計 算 書

測 点	点 間 距 離 m	舗装版取壊し t=5cm			不陸整正 M-30 t=5cm			表層As20 t=5cm		
		幅 m	平均 m	面積 m ²	幅 m	平均 m	面積 m ²			
①	0.00	2.90			2.90			2.90		
	13.80	2.70	2.80	38.6	2.70	2.80	38.6	2.70	2.80	38.6
②	0.00	2.70			2.70			2.70		
	17.10	2.70	2.70	46.2	2.70	2.70	46.2	2.70	2.70	46.2
③	0.00	2.70			2.70			2.70		
	3.40	2.70	2.70	9.2	2.70	2.70	9.2	2.70	2.70	9.2
④	0.00	3.80			3.80			3.80		
	25.00	3.80	3.80	95.0	3.80	3.80	95.0	3.80	3.80	95.0
⑤	0.00	4.10			4.10			4.10		
	33.00	4.10	4.10	135.3	4.10	4.10	135.3	4.10	4.10	135.3
⑥	0.00	3.50			3.50			3.50		
	38.50	3.50	3.50	134.8	3.50	3.50	134.8	3.50	3.50	134.8
		459.0*0.05=22.95m ³								
		22.95*2.35=53.93t								
合計	130.80			459.0			459.0			459.0

平面図 縮尺FREE

30単・市道A3380号線（BRT）舗装補修工事

